

海水腐食の基礎、事例、および対策技術

- ◆日時: 2021年10月25日(月) 10:30~16:30
 - ◆会場: あなたの職場や自宅のPCで受講可 (WindowsPC推奨)
 - ◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申込みされた場合、1名につき44,000円
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: MIYASAKA Lab.(腐食防食コンサルティング) 代表 博士(工学) 宮坂 松甫 氏

≪講座の趣旨≫

海水は、電力、化学、鉄鋼等各種プラントの冷却水、海水淡水化・製塩プラントの原料および冷却水、油・ガス井におけるインジェクションシステムなどに幅広く利用されており、各プロセスにおいて様々な機器が使用される。他にも、架橋、港湾構造物、船舶、あるいは水族館などで、海水に触れる機器・構造物は多い。海水は、塩化物を中心とする無機塩類を多量に含んでいる、このため導電率が高い、などの理由から腐食性が高く、海水を扱う機器・構造物の防食面での保守管理は重要な課題である。

講師が長年取り組んできた海水ポンプの腐食・防食研究の経験を踏まえ、水溶液腐食の基礎、海水性状および海水腐食の特徴、および海水腐食の事例と対策技術を具体的にわかりやすく解説する。海水腐食は金属材料の水溶液腐食全般に共通する普遍的な内容を含んでおり、本セミナーは腐食を基礎から学びたい人にとっても有益なものになると確信する。

≪プログラム≫

1.水溶液腐食の基礎

- 1.1 腐食反応の式
- 1.2 均一腐食と局部腐食
- 1.3 分極曲線と腐食速度
- 1.4 標準電極電位と自然電位
- 1.5 皮膜の保護性と耐食性
- 1.6 環境因子の影響

2.海水腐食の基礎

- 2.1 海水の利用
- 2.2 海水の性状と特徴(海域による違いも含め)
- 2.3 海水腐食の特徴(淡水腐食との違いも含め)

3. 海水腐食の事例と対策技術

- 3.1 流れの影響とエロージョン・コロージョン
- 3.2 異種金属接触腐食とカソード防食
- 3.3 腐食防食解析技術
- 3.4 孔食とすきま腐食
- 3.5 応力腐食割れ
- 3.6 鋭敏化と粒界腐食
- 3.7 微生物と塩素処理の影響

4.まとめ

【質疑応答】

※職場や自宅のノートPCでオンライン会議アプリzoomを使って受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

『海水腐食』WEBセミナー申込書

FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>